



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 萩原電気株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成30年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	81,030	11.1	2,712	36.4	2,744	36.5	1,869	35.9
29年3月期第3四半期	72,918	7.7	1,989	3.7	2,010	0.0	1,375	8.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,036百万円 (63.1%) 29年3月期第3四半期 1,248百万円 (2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	230.07	229.96
29年3月期第3四半期	168.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	56,408	27,140	48.1
29年3月期	52,370	25,681	49.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 27,132百万円 29年3月期 25,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		45.00	80.00
30年3月期		40.00			
30年3月期(予想)				45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	5.2	3,450	11.3	3,400	11.3	2,250	2.3	276.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	8,351,600 株	29年3月期	8,318,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	192,736 株	29年3月期	192,653 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,126,481 株	29年3月期3Q	8,183,032 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、企業の設備投資や個人消費が増加傾向となり、緩やかな回復基調が続いております。一方海外経済は、欧米では比較的堅調に推移しておりますが、アジアや中東における政情不安などで依然先行きの不透明感は払拭できない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、自動車生産において日本国内では前期並み、海外では北米では減産となるものの、インドや中国などのアジア地域では前年同期を上回り、ワールドワイドでは総じて堅調に推移しております。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は810億30百万円（前年同四半期比11.1%増）となり、営業利益は27億12百万円（前年同四半期比36.4%増）、経常利益は27億44百万円（前年同四半期比36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億69百万円（前年同四半期比35.9%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを中心とした半導体や電子部品等の販売に加え、組込ソフトウェア/ハードウェア開発支援、カスタムLSI等の技術サポートを行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主要ユーザーである自動車関連企業の自動車生産台数が引き続き堅調に推移したことによる納入部品の増加や、先進運転支援システム搭載車両の生産増加が寄与した結果、デバイスビジネスユニット事業の売上高は、679億27百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益は31億48百万円（前年同四半期比26.3%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、IT機器、計測機器及び組込機器の販売からITプラットフォーム基盤構築の提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主要ユーザーである自動車関連企業を中心とした企業の設備投資需要を的確に捉えた営業活動を展開した結果、計測分野及び組込分野の売上高が計画を上回る状況で推移したことにより、ソリューションビジネスユニット事業の売上高は131億3百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は7億27百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて40億37百万円増加し564億8百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて38億64百万円増加し516億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金が11億57百万円及び受取手形及び売掛金が5億99百万円減少しましたが、電子記録債権が2億70百万円及び商品及び製品が49億52百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億73百万円増加し47億73百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて25億78百万円増加し292億67百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25億45百万円増加し255億47百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が15億65百万円及び未払法人税等が4億74百万円減少しましたが、電子記録債務が10億74百万円及び短期借入金が38億83百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて33百万円増加し37億20百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14億58百万円増加し271億40百万円となりました。

この結果、自己資本比率は48.1%（前連結会計年度末は49.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年度3月期の業績予想につきましては、平成29年11月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,445	4,288
受取手形及び売掛金	27,801	27,202
電子記録債権	2,127	2,398
商品及び製品	10,977	15,930
仕掛品	349	525
原材料及び貯蔵品	176	255
その他	897	1,038
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	47,769	51,634
固定資産		
有形固定資産	2,645	2,602
無形固定資産	107	98
投資その他の資産		
その他	1,847	2,073
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,847	2,073
固定資産合計	4,600	4,773
資産合計	52,370	56,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,884	11,318
電子記録債務	1,731	2,805
短期借入金	4,508	8,392
1年内返済予定の長期借入金	1,320	1,437
未払法人税等	639	165
受注損失引当金	0	17
その他	1,917	1,410
流動負債合計	23,002	25,547
固定負債		
長期借入金	3,243	3,250
退職給付に係る負債	191	139
その他	250	330
固定負債合計	3,686	3,720
負債合計	26,688	29,267

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,301	3,353
資本剰余金	3,792	3,845
利益剰余金	18,527	19,706
自己株式	△354	△354
株主資本合計	25,267	26,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	437
為替換算調整勘定	242	246
退職給付に係る調整累計額	△110	△102
その他の包括利益累計額合計	413	580
新株予約権	—	8
純資産合計	25,681	27,140
負債純資産合計	52,370	56,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	72,918	81,030
売上原価	66,141	73,161
売上総利益	6,777	7,869
販売費及び一般管理費	4,788	5,156
営業利益	1,989	2,712
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	13	15
為替差益	23	21
保険解約返戻金	—	30
関税還付金	15	—
その他	24	33
営業外収益合計	81	106
営業外費用		
支払利息	31	30
売上債権売却損	23	37
その他	5	7
営業外費用合計	60	74
経常利益	2,010	2,744
特別利益		
固定資産売却益	120	0
資産除去債務戻入益	4	—
子会社清算益	—	7
特別利益合計	124	7
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	9	—
特別損失合計	9	1
税金等調整前四半期純利益	2,124	2,749
法人税等	748	880
四半期純利益	1,375	1,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,375	1,869

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,375	1,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	155
為替換算調整勘定	△244	4
退職給付に係る調整額	0	7
その他の包括利益合計	△127	166
四半期包括利益	1,248	2,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248	2,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した萩原電気デバイス分割準備株式会社及び萩原電気ソリューション分割準備株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、萩原電気貿易(上海)有限公司は清算したため、連結の範囲から除外しております。

なお、いずれも特定子会社には該当しません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,328	11,589	72,918	—	72,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	16	77	△77	—
計	61,389	11,606	72,995	△77	72,918
セグメント利益	2,492	528	3,021	△1,031	1,989

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,031百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,927	13,103	81,030	—	81,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	14	90	△90	—
計	68,003	13,118	81,121	△90	81,030
セグメント利益	3,148	727	3,875	△1,162	2,712

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,162百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。